

農業経済学総合演習 (8単位)

担当者氏名 農業経済学専攻指導教授

◆学習・教育目標

本演習は、農業経済学専攻に在籍する博士前期課程の大学院生を対象に、全教員の前で各自の研究成果を発表し、幅広い視点から研究方法、分析手法、問題点などを確認・修得する演習である。同時に他の院生の発表を聴講し、学術的討論を行うことも課題とする。博士前期課程の学生は1年次後期から数回にわたる発表が義務づけられている。院生は、この演習をとおして多様な手法、視点等にたった研究をすすめることができる。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

農業経済学 食料経済学 環境経済学 農業政策論
国際農業・貿易論 フードビジネス論 農業史・農村社会学 地域経済論

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1~7	1年次 第一回総合演習	・研究課題の設定と先行研究の整理、研究計画の立案について理解し、実践することを目標に学習する。 同時に他学年の発表を聞くことで、学術報告の意義について学ぶ。	指導教員による個別の授業のほか、全院生及び教員の出席の下、研究成果を発表し幅広い手法、視点等からの課題を学ぶ。
8~15	第二回総合演習		
16~23	第三回総合演習		
24~30	第四回総合演習		
31~38	2年次 第一回総合演習	・調査研究の実施とデータ分析および研究の体系的な取りまとめ方について理解し、実践することを目標に学習する。後期課程の院生を含む他学年の発表を聞くことで、学術報告における質疑の方法についても学ぶ。	各自で研究レジュメを用意すること。
39~45	第二回総合演習		
46~53	第三回総合演習		
54~60	第四回総合演習		

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

各自で研究レジュメを用意する/ / ()

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

農と食の現段階と展望/東京農大農業経済学会編/ 東京農大出版会 / (2004)

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

年4回集中、2年間の報告と討議にもとづき評価する。

◆その他受講上の注意事項

各自の研究対象と異なる研究対象の発表でも、幅広い視野及び手法を学ぶために、課題と問題意識等をもって参加することが必要である。